

戸田ヶ原自然再生事業 保全管理活動に初参加

浦和支部

埼玉県電気工事工業組合の浦和支部（値賀信彦



オギを縛る値賀支部長

支部長）は、今年5月に行われた「戸田ヶ原カイドウウォーク」に参加したのを機に、戸田市水と緑の公社のサポーターに支部として登録。このほど、戸田ヶ原自然再生事業保全管理活動に初めて参加した。

この活動は、埼玉県生態系保護協会、戸田市水と緑の公社、戸田市の3団体が主催し、平成19年から戸田のふるさとの風景である戸田ヶ原に、サ



参加者

クラソウを代表とする草花や、多くの野生の生きものが生育できる湿地の再生を目指し、自然再生を行って

いる。
当日は、台風直後の残暑のなか、専門家からサクラソウや野生の草花を保護するためのアドバースを受けながら、外来植物のセイタカアワダチソウやフタクサなどの抜き取り作業、サクラソウを覆っている園路沿いのオギが倒れないように紐で縛る作業を行った。
参加した組合員は、作業後の見違えるようにすっきりした景色に満足していた。

蕨警察署の街頭広報 キャンペーンに参加

浦和支部は、蕨市のイ
トーヨーカードー錦町店で
9月の全国交通安全運動
に先立って行われた、蕨
警察署と蕨市交通安全対
策協議会の出発式ならび
に街頭広報キャンペーン
に参加した。



チラシ・啓発グッズを配
る組合員

出発式の冒頭、蕨警察
署長が「近年、蕨市内で
は交通事故件数は減少傾
向にありますが、自転
車事故の割合が高いことが
課題となっています。悲
惨な事故を一件でも減ら
すためには、一人ひとりが
交通安全への意識をし
っかりと持つことが必要
です」と参加者に協力を
訴えた。

続いて、交通安全母の
会の小林那智子会長から
市長に対して、上田清司
埼玉県知事からの交通安
全に向けたメッセージが



参加者一同

伝達された。
参加した組
合員は、今年
度重点目標で
ある「子ども
と高齢者の交
通事故防止、
自転車の安全
利用」などの
チラシ・啓発
グッズを配
り、交通安全
を呼びかけ
た。